平成22年度 FDフォーラム
『学生による授業評価を活用した授業改善について』

○ FD フォーラムの概要

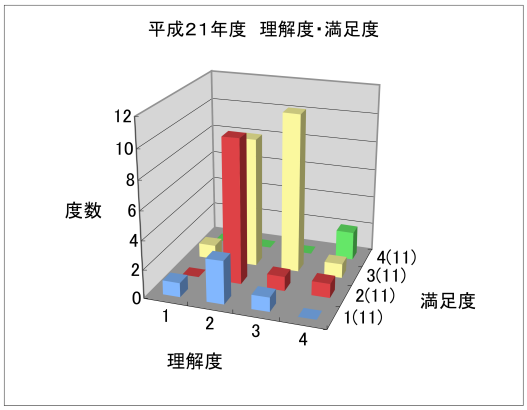
１．授業評価アンケートの解析と授業改善について：個々の教員が授業評価アンケートのどこに注目して、どのような方策を取ればよいのかについて、情報メディア学科の１年次必修科目である情報学概論における数量的データを例に報告した。

２．科目群による授業評価アンケートの解析：授業評価アンケートを実施した講義、実験実習毎に平均した数量的データを１つの要素として科目群で可視化し、今後の授業改善に向けた資料を提供した。

○ 授業評価アンケート数量的データの解析

１．授業評価アンケートの解析と授業改善について：

学生による授業評価を効果的に活用するために、今年度より解析のためのデータとして、講義ごとのアンケート加工前データを新たに用意した。従来、学生による授業評価アンケートでは統計処理を行った結果が教員にフィードバックされていた。アンケート加工前データの活用により、統計処理後のデータでは行うことができない詳細な解析が可能となった。図１に平成２１年度、平成２２年度の情報学概論における理解度と満足度、２つの独立した項目にたいする度数を示した。平成２１年度の図を見ると、理解度と満足度の間に相関が存在するが、「まずまず満足していても（満足度３）あまり理解していない（理解度２）」といった、満足度の意味合い自体を把握できていない学生の存在が見て取れる。平成２２年度、授業内容を見直し改善を行うことで、理解度と満足度の度数が良好な方向へシフトし、また理解度と満足度の相関も高くなっていることがわかる。



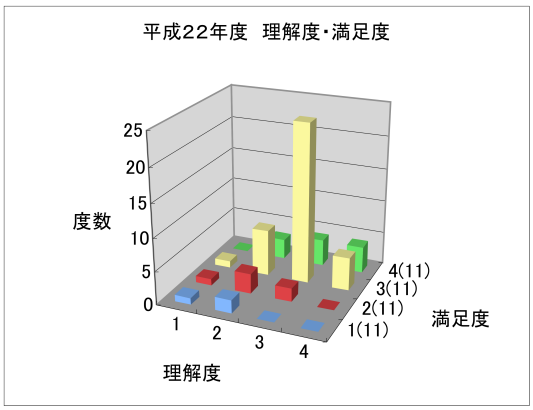


図１　情報学概論における理解度・満足度の度数分布
（ポイントが高いほど理解度・満足度は高い）

２．科目群による授業評価アンケートの解析：

授業評価アンケートに科目分類コードを付加することにより、学科別など特定の科目群に分けて解析を行い、授業改善のための有効な方策を見出せるよう改善した。科目群による解析の例として平成２１年度の学生の積極性を図２に示した。全学の平均と科目群での平均だけでなく、それぞれの群でどのような分布を持っているのか、その特徴を見ることが可能となった。

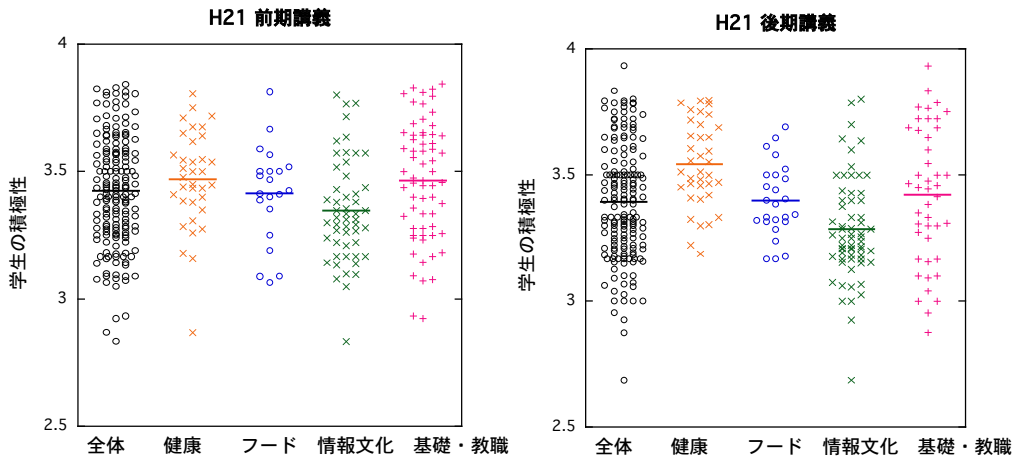


図２　科目群ごとの学生の授業にたいする積極性
（水平線は各科目群での平均値）

○ まとめと展望

本学では授業評価アンケートの結果を授業担当教員にフィードバックし、「総括と意見」の作成を求めている。その際必要ならば、１．で述べたアンケート加工前データに基づいた詳細な解析も可能である。新たなアンケート加工前データ整備に伴い、その積極的な活用をお願いした。また、個々の教員の授業改善に向けた試みに加え、1 年次の必修科目担当者の経験を学科で共有していけば、学年進行にともなう学生への対応がより円滑に行えると期待している。その際２．で述べた科目群などの大きな枠組みで学生の動向を把握することも重要になってくるであろう。今回報告した解析例と解析手法は授業改善のための一例であり、学科等でそれぞれに適した解析手法を確立し、それに基づいた授業改善を推進していくことをお願いした。